

NEWS RELEASE

京成グループは、ニッケが推進する
循環プロジェクト「WAONAS（ワオナス）」に参加します
～両社は連携して衣料品の再資源化に取り組みます～

京成電鉄株式会社（代表取締役社長：天野 貴夫、以下「京成電鉄」）及びそのグループ（以下「京成グループ」）は、日本毛織株式会社（代表取締役社長：長岡 豊、以下「ニッケ」）が推進するウール衣料品回収・循環プロジェクト「WAONAS（ワオナス）」に参加し、連携して廃棄予定の使用済み制服を再資源化することで、脱炭素・循環型社会の実現に向け取り組みます。



×



京成グループでは、長期経営計画「Dプラン」の重点施策として「エコロジカルなまちづくりの推進」を掲げ、これまでに使用済み制服を原料とした繊維リサイクルボードの製作や、スーパーや飲食店・社員食堂等で発生した使用済み食用油を石鹸・インク溶剤等として活用し、将来的には SAF（持続可能な航空燃料）の原料として使用予定など、様々な廃棄物の再資源化に取り組んでいます。

ニッケが運営するウール衣料品回収・循環プロジェクト「WAONAS」は、使用済みのウール混衣料品を原料化し、再び衣料品として再生する取り組みです。従来、衣料品はリサイクルが難しく廃棄処分（焼却・埋立）が主流でしたが、「WAONAS」によって、廃棄処分の過程で排出される温室効果ガスを削減するとともに、国が推進する循環経済への移行による持続的な経済成長に貢献します。

両社の取り組みの第一弾として、京成電鉄は 2025 年 4 月に合併した新京成電鉄株式会社の使用済み制服・作業服約 4t を拠出、ニッケが「WAONAS」で再資源化し、幅広い用途に活用します。

また、本年のグループバス事業再編完了後に、リニューアルを予定しているバス事業 4 社（※）の制服に「WAONAS」で再資源化された原料を一部活用します。

今後も京成グループとニッケは、「WAONAS」を通じて、脱炭素・循環型社会の実現に向け取り組みます。

（※）バス事業 4 社：京成バス東京(株)、京成バス千葉ウエスト(株)、京成バス千葉セントラル(株)、京成バス千葉イースト(株)

●WAONAS（ワオナス）とは



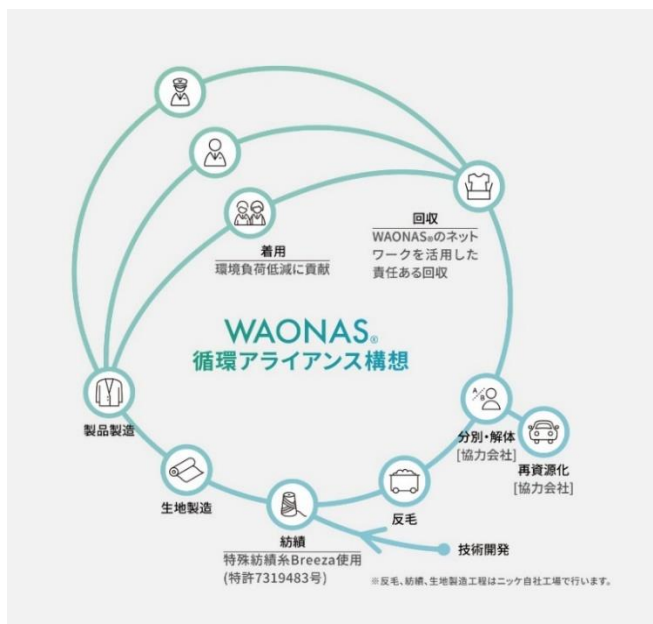
ウールの衣料品は丈夫で製品寿命が長く環境にもやさしいものですが、「WAONAS」は回収したウール混の衣料品を原料の状態まで戻し、再び糸から服へと蘇らせる独自技術開発により可能になった日本初の取り組みです。

リサイクルを発展させた「服から服へ」と循環再生させる環境に配慮した新しいプロジェクトです。

<WAONAS 循環アライアンス構想>

制服を利用している企業・学校等からウール混の使用済み衣料品を回収し、ニッケをはじめとした流通・製造のグループ各社が協力して衣料品循環の実現を目指す事業構想です。

参加するメンバー全体で循環の輪をつくることで、回収量・納期・品質のばらつき等のリスクを分散し、かつ循環型社会の実現に向けた技術を共有し、環境保全活動の推進を目指します。



以上